

事務事業名	広報紙「広報ごてんば」発行事業	整理番号	51201-010
所管	企画課 広報スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和31年度 ~ 平成年度	根拠法令・要綱等	広報ごてんば発行規則
基本計画における位置付け	基本政策	5-1 市民主体の行政運営	関連政策
	政策	5-1-2 開かれた行政の推進	

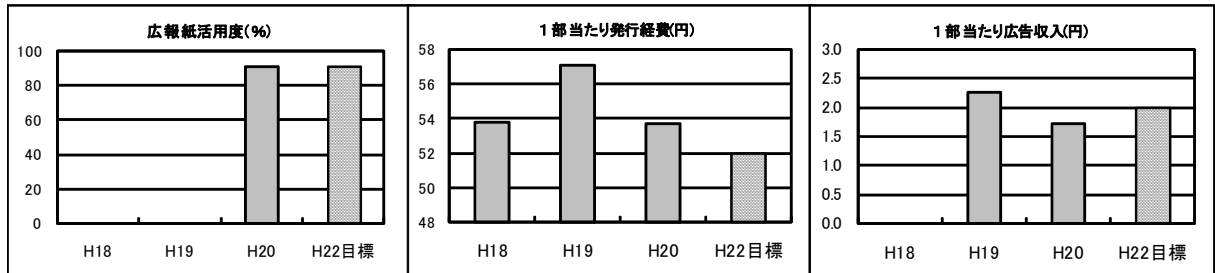
事務事業の内容

目的 (何のために)	行政情報を市民に提供し、共に進めるまちづくり活動を情報面で支援する。
対象 (誰・何を)	全市民(世帯)
手段 (どのようなやり方で)	A4判の規格で、毎月5日(企画記事中心、概ね16ページ)と20日(お知らせ記事を中心に、概ね12ページ)に発行。各世帯に自治会経由で配布。(一部公共施設や商店・コンビニ・病院等に配置)
成果 (どのような状態にしたいか)	市政の課題や施策を市民に知らせ、行政に対する関心を高めるとともに、より効果的なまちづくりを進める。
事務事業の背景・住民の意向	市政の課題や施策を市民に知らせ、市政への理解を得るため、広報紙を発行する。平成10年、12年、14年、16年、20年度に市民意識調査を実施。
見直し改善の経過	平成19年度より有料広告を掲載し、コストの圧縮に努めた。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	ページ数 355 発行部数 661,227	
平成19年度	ページ数 350 発行部数 669,830 広告収入 1,515,000円	
平成20年度	ページ数 344 発行部数 679,130 広告収入 1,165,000円	

評価指標



事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性 手段改善
観点別評価	必要性 有効性 効率性	広報紙の発行は市として取り組まなければならない事務事業である。一方、コストの削減には、編集された版の完成度向上と、色数の低減、編集に係る人件費の削減が考えられる。御殿場市として、どのレベルの広報紙を発行すべきか判断し、徐々にアウトソーシングに取り組み、相対的な発行経費の縮減に努める。	
総合評価	B		

改革プラン

平成21年度からの対応	一部アウトソーシングに係る情報収集、分析
平成22年度以降の対応	デザイン分野のアウトソーシングと、職員の1名減
改革により予想される成果	人件費の縮減

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	・4色刷りから2色刷りへの変更や紙質を下げるなど、経費縮減を図る。 ・デザイナーの委託化、臨時職員対応を検討。 ・他部署の情報紙の集約化や他の団体との連携も検討する。 ・市政カレンダー等を含めて、広告収入の増収を図る。 ・市が発行する印刷物全体について、均一化を図り、経費縮減を検討する。
仕分け理由	
カラー印刷や紙質、デザイナーの委託化など経費縮減に改善の余地がある。	